

HAL財団企画広報室 今年のお仕事紹介

HAL財団企画広報室の今年度予定している仕事を紹介します。

<映像を使った広報>

2024年3月に贈呈式を行った第19回 HAL 農業賞の受賞者を今年も動画を制作し紹介いたします。

また、今年度の企画として、過去に HAL 農業賞を受賞した方、企業がその後どのような成長を遂げているのかを動画を使いレポートする企画を練っています。



さらに、我々企画広報室のスタッフがカメラを担ぎ、現場に赴き、取材をすることにも力を入れています。慣れない撮影、編集作業にも挑戦します。

<文字で伝える広報>

昨年から外部の方に WEB 版 HAL だよりの執筆をお願いする回数を増やしています。今年はさらに回数、依頼先を増やしていきます。

すでに野菜ソムリエの吉川雅子さん、別海バイオガス発電(株)の小菅加奈子さんなどと原稿の打合せを進めております。ご期待ください。

<配信セミナーも>

今年は、配信セミナーにも挑戦します。

タイムリーな話題をお伝えできるよう、講師や内容を検討しています。

動画サイト Youtube や ZOOM 会議などを利用し、双方向の質疑応答などにも対応できるようにする予定です。



<トークセッション>

2023年1月、2024年1月に開催した「トークセッション」が好評でした。そこで、今年は「サマートークセッション」と通常の「トークセッション」と2回のトークセッションを検討しています。

HAL 財団の企画広報室は、スタッフ2名だけの小さな組織です。それでも、皆さまのご要望にはできるだけ対応していこうと考えています。

ご意見、ご要望がありましたら、info@hal.or.jp までメールをお寄せください。

PDF 版

本記事 URL: <https://www.hal.or.jp/column/1791/>